



「モヨ・チルドレン・センター」建設、日本キャンペーンのご報告

皆様、新年あけましておめでとうございます。昨年中は暖かいご支援を賜り、心よりお礼申し上げます。本年も昨年同様どうかよろしくお願ひ致します。この新しい年2005年が皆様にとっても、私どもにとっても飛躍の年になるようにと祈っております。

さて、昨年の日本での「モヨ・チルドレン・センター建設ご協力お願ひ」キャンペーンの節には受け入れ準備から広報、講演会当日のアレンジ、と多くの方々に色々お世話になりました。遅くなりましたが改めて心よりお礼申し上げますとともに、その全体をご報告いたします。

例年と変わり今回は、念願の「センター建設」に的を絞って、1月から本格的に準備を始めました。会場販売用にスラム婦人グループと制作した「押し花ラミネート」を持参して、7月末に日本帰国、同行するジョージの来日を待っていよいよ神戸からキャンペーンの旅が始まりました。

神戸

8月5日、今回のキャンペーンの初講演会場であるレストランには主催者であるオーナーのご尽力で、入りきらないほどの方々が集まり、私たちのつたない話を熱心に聴いてくださいました。日本人学校などケニアに住まわれたことのある方々も、ケニアの品々や手造りのビーズ細工を持って駆けつけてくださいました。



↑長岡講演会場にて

私たち持参のラミネートと一緒に会場で販売、その収益金を全てご寄付くださったのも有難いことでした。講演会後はおいしい料理を頂きながらの懇談に時を忘れ、力づけられたキャンペーンの皮切りでした。

四国

徳島で5ヶ所、愛媛では4ヶ所で話させて頂きました。徳島各地で主催してくださったのは子どもの幸せを求めるNPOを始め、地元新聞社労働組合、診療所、婦人の会、地域の集まり等と、バラエティーに富んでいました。また愛媛では「支える会」代表の高塚さんとそのお仲間が受け入れ準備を進めてくださって、これまた色合いの違った集まりで話しました。折悪しく直撃した台風に悩まされましたが、幾つかの会場では講演後参加者とジョージのドラムの競演、舞等もあり、和やかなひと時でした。ジョージの参加でアフリカをより身近に感じて頂けたようです。

関西

関西では10年来お世話になっている、フリースクール「ラミ中学校」での講演を始め、須磨では親子コンサート、子ども達にお話を聞かせる会等をされている集まりに参加、子どもも含む皆さんの演奏やお話を共に楽しみ、私たちも話す機会を頂きました。また神戸、大阪、奈良で長年支援してくださっている方々を訪ねご報告いたしました。

関東

関東では神奈川、東京、千葉の3ヶ所で講演、東京会場には関東在住の高校同級生が5名も駆けつけてくれるという嬉しいハプニングもありました。講演の合間を縫って数年来ご支援頂いている法人・個人をお訪ねし、ご報告すると共に今後のご協力を改めてお願いしました。

ここにはモヨの最年少の支援者、栗山夏実・悠ちゃん姉妹がいます。夏実ちゃんはもう中学生ですが、小学生の時から、ご両親とは別に、悠ちゃんと二人で支援してくれています。毎年帰国の度に、彼女達がこの1年間貯めたお小遣いを

↓栗山夏実・悠ちゃんと太将くん



持ってきてくれます。今年は昨年生まれた弟の太将くんも一緒でした。慣れない日本でのハードスケジュールに疲れ気味のジョージも楽しそうに彼をあやしていました。無論大人の方々のご支援あつてのモヨですが、この小さな支援者にどんなにか励まされていることでしょう。

新潟

第二の故郷とも言える新潟は、私が初めてアフリカの土を踏んだ時に縁あってご一緒したお二人の住むところです。悲しいことにお一人は亡くなられてしまいましたが、そのパートナー、友人、そして残るお一人に暖かく迎えられる、毎年お訪ねしています。

今回は長岡の3ヶ所に加え、津南、三条でも講演会をさせて頂きました。三条市は大洪水の後片付けもまだ終わっておらずいたる所に被害の後が生々しく残り、会場となった福祉センターには未だ避難生活をされている方々、炊き出しを受けている方々もいらっしゃいました。そういう中で準備くださった方々の、講演会開催に至る道の困難を思う時、ことばありませんでした。また津南では講演会の後夏祭りに招待頂き、ご馳走になり、一緒に踊り、ジョージは太鼓まで叩かせて貰うというおまけ付き、楽しいひと時でした。長岡「安善寺」様での講演、市民センターでの講演にも多くの方が駆けつけてくださいました。

東北

東北では4ヶ所、仙台、岩手の大船渡、盛岡、そして大学の先輩が急遽準備してくれた飛び入りの秋田です。仙台はこれで3度目、街並みも馴染み深いものです。受け入れてくださるNPOの方々には毎年ケニアに來訪されており、代表の方は当スラム婦人グループを指導してくださっています。今回の押し花ラミネートもその方の指導によるものです。会場には数年来ご支援頂いているある会社の若い方々もたくさん来てくださって、時にははじけるような笑い声もあり他の地区とは一味違った講演会になりました。

岩手では大船渡と盛岡の2ヶ所、主催者はケニアでNGOを立ち上げる準備をされている方々です。代表の方とケニアで知り合い、志を同じくする仲間としてお付き合い頂いています。

最後の秋田は、突然の講演会にも関わらず多くの方が集まってくださって、質問もたくさん出る良い会になりました。

以上、それぞれの雰囲気的一端なりとも感じて頂ければ幸いです。各地でお世話くださった方々、通訳をしてくださった方々、また病氣療養中の身でご家族の方に建設資金の一部にとご厚志を託してくださった方々、まだまだお伝えしたことが山ほどあるのですが、紙面の都合でできないのが残念です。数え切れないほどの方々に支えられてこのキャンペーンでした。改めて皆様のご協力、ご支援に心よりお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

結果を下記にご報告します。不足分は公的資金へ申請したいとその準備を進めていますが、今後も「支える会」を通じてのご寄付をお待ちしております。子ども達の集う姿を夢みながら、一日も早い建設に向けて邁進する所存です。皆様の更なるご協力を、心よりお願い致します。 **モヨ・チルドレン・センター主宰 松下照美**

「モヨ・チルドレン・センター」建設ご協力お願い キャンペーン収支 (04/12/31 現在)

期間 /04/7/27 ~ 10/13 (日本での準備・後片付けも含む)

1 寄付金総額…3,431,909 円

内訳 ①建設指定寄付…1,149,060 円

②クリスマス指定寄付…10,000 円

③無指定寄付…2,272,849 円

※無指定寄付には建設費ならびに運営費と記された寄付を含む

2 かけた経費総額…1,017,869 円

内訳 ①準備

写真取材 (04/1/9 ~ 3/8) 航空運賃 186,900 円

フィルム・デジタルテープ 44,890 円

ジョージ日本語学習教材 30,838 円

ジョージ ビザ代 (2,100 シリング) 3,150 円

写真現像・パネル代等 188,916 円 計 454,694 円

②キャンペーン中経費 (2 名分)

交通費 (航空運賃・日本での移動) 472,780 円

写真パネル等輸送代 32,108 円

食費 25,898 円

通信事務費 22,389 円

福利 (銭湯、温泉等) 10,000 円 計 550,205 円

※無指定寄付金は建設資金ならびに運営費として使わせて頂く。
(一部建設資金、一部運営費として)

嬉しい学校復帰

1月5日、雲ひとつ無い青空のもと、勢ぞろいした6人のこどもたち！前日に買ったびかびかの制服と靴に着替え、どれにしようかと悩みながら選んだかばんを背負って照れくさそうに、それでも嬉しさを隠し切れないようすでカメラの前に立つ彼ら。さっ



きまでと同じ人物とは信じられない変身ぶりでした。スタジアムに来ていた大人もこどももびっくり、知り合いからは掛け声がかかり大きな拍手が沸きました！

各自が希望した学校に入れて貰ったのですが、やはり不安なのでしょうか。それぞれの学校に着くと心細そうなようすを見せ始めた子どもたちをなだめ、先生にもお願いし、出来るだけ頻繁に様子を見に行くことを約束して別れました。

訪ねる学校がまた増えました。昨年1月にストリートの子供達と直接関わり始めて1年、これで10人の子ども達が4つの小学校に復帰することになります。昨年復帰した4人はシンナーも止め元気に学校に通っています。今度の6人もドロップアウトすること無く一日も早く学校になじんで貰いたいものです。そして一人でも多くの子どもたちが後に続いてくれるようにと願っています。

(松下)

←テレながら「はい、ポーズ。」下の写真が変身前(?)

ティカ・スタジアムでの クリスマス・パーティ 12月22日(水)

今日は、モヨが今年1月以来支援しているストリートの子供達とのクリスマス・パーティ。ティカ・スタジアムのトタン屋根の小さなホールにはもう子供達が集まっています。まず、日頃かかわっているボランティア・スタッフ達の挨拶、続いて、そのスタッフ達の指導の下、シンナーをやめ、学校に行き始めた子、来年から学校に復帰予定の子達の表彰とプレゼントの授与がありました。スポーツ・シャツ、サッカー・パンツ、算数セット(ケースの中に筆記道具・定規等が入ったもの)、バスケットなど、子供達が喜びそうな品揃えにスタッフ達の温かい気持ちが表れています。プレゼントを貰えた



↑試合終了後の握手

子も、渡す大人も嬉しさに顔が輝いていました。

食事に続いて、今日のパーティの目玉でもある地元サッカー・チーム「メディスカ・ジュニア」とストリートの少年達によるMOYO FC(モヨ・フットボール・クラブ)



の親善サッカー試合が行われます。乾季のティカは日本の真夏のような青空が広がり、絶好のサッカー日和。MOYO FC 全員に配られた揃いのユニフォーム、背中にモヨのマークとMOYO FCという文字が入った黄色いTシャツがみんなよく似合い、気合が入ります。いよいよ試合開始。まず、モヨチームがペナルティ・キックで先制の1点！これはいける、と思ったのですが、いかんせん後が続きません。相手チームの子達はさすがに日頃練習しているだけにパスが回り、ボールさばきがたくみです。結局、善戦むなしく3対1で負けてしまいました。

試合が終わって戻ってきたモヨの子供達は、汗を流してスポーツした後のふとこぼれる笑顔、試合が始まる前の顔とちょっと違っていました。

(取材/加藤)

看護婦か社長になれるようがんばりたい

●Nancy Wambui ナンシイ・ワンブイ 女子・18歳

私が出会った子どもたち③

モヨが支援している数少ない女子の一人ナンシイを紹介します。(全支援者 27 名中、女子は 4 名。) ティカの街角で炒ったピーナツを売っている彼女とはときおり顔をあわせることはあっても特別話を聞くということもなかったため、福祉関係事務所の依頼で彼女にあった時は本当にびっくりしました。後に彼女のお母さんの属するスラム婦人グループを支援することになったことも重なり、今では家族ぐるみの付き合いです。家計を助けながら進学の夢も持ちつづけたがんだりやさんで、入学こそ遅れたものの成績も徐々に上がり始めています。ブロードウェイ・ハイスクールはスラムの外れにあるティカでも数少ないデイスクール(通学制の学校)の一つです。



質問1) 友達という時、どんな話をしますか？

答え) 将来何になりたいかとか、科目で難しかった質問等について。

質問2) いちばん嬉しい時、幸せな時はどんな時？

答え) 試験がうまくいった時、先生の教えてくれたことが良く理解できた時。

質問3) 何か困っている事や心配事がありますか？

(はいと答えた人だけ) a) それはどんなことですか？

答え) 学校用の靴が買えない、教科書が足りなくて勉強に差し支えることです。

b) それらのことを解決するのに誰に相談しますか？

答え) ケース・バイ・ケースで先生や母親に相談します。

質問4) 将来についてどんな夢を持っていますか？

答え) 看護婦か大きな会社の社長になれるようがんばりたい。そして良い仕事に就けたら、恵まれない子どもたちが将来良い人生をおくれるように手助けをしたいです。

ケニア・ア・ラ・カルト⑤

ヘア・スタイル

ケニアの女性は、とてもよくヘアスタイルを変えます。ある時は、編みこみヘア、ある時は、ウイッグ(かつら)をかぶり、それがカールされた髪だったり、ストレートだったりします。

縮れ毛の髪は長く伸びる前に切れてしまうので、編みこみヘアにする場合、エクステンションと呼ばれるすでに三つ編みになっている人工毛を使います。まず地毛を編みながらその中に、人工毛を編み込んでいきます。三つ編みの太さは色々です。細かい三つ編みになると、二人がかりで6時間近くもかかります。たいていはサロン(美容室)に行つて専門の人にやってもらいますが、スラムなどでは、知り合い同士や家族間などでやりあうようです。

朝、オフィスに着いて、知らない人から挨拶され、誰だっけと考えると前からの同僚だったりします。あら～又ヘアスタイルを変えたのね！と、その度にビックリしています。(高橋)

| | | | |
|-----------------------------|-------|------------|-------|
| ■誕生日：1986年11月20日 | | | |
| ■現住所：キャンアウトウ(スラム)・ティカ | | | |
| ■現在通っている学校：ブロードウェイ・ハイスクール3年 | | | |
| ■家族：父 死去(年月日不明) | | | |
| 母 43歳・路上で野菜等販売 | | | |
| 兄、姉(2003年死去)、弟 | | | |
| ■一日の日課 | | | |
| 5:00～6:00 | 起床～勉強 | 6:00～7:00 | 夕食準備 |
| 6:00～6:30 | 朝食 | 7:15～8:00 | 夕食 |
| 6:30～5:30 | 学校 | 8:00～11:00 | 勉強～就寝 |
| 5:30～6:00 | 洗濯 | | |

「モヨ・チルドレン・センターを支える会」会員募集
お一人でも多くの方に、一社でも多くの法人にご入会いただき、当センターを支えて頂ければ幸いです。

経過報告(2004年12月31日現在)

- 正会員・日本 35 名・ケニア 1 名 計 36 名 (21 名増)
- 賛助会員・日本 27 名 (14 名増)
- 特別会員・日本・個人 33 名 (5 名増)・法人 3 社

モヨ・チルドレン・センターの歩み

- 1997年11月 ■ケニア政府大統領府 NGO ビューロー・インターナショナル NGO 登録の申請書類提出。
- 1999年9月 ■ケニア政府より国際 NGO として「モヨ・ホーム」正式に認可・登録される。
- 2000年10月 ■ティカにて、本格的に活動開始。
- 2001年5月 ■「モヨ・ホーム」から「モヨ・チルドレン・センター」に改名。
- 2004年4月 ■「モヨ・チルドレン・センターを支える会」発足。

編集後記

- ◎ 2005 年、新しい年が皆様にとって良い年でありますように。今年もよろしくお願ひいたします。(テル)
- ◎ 朝夕の渋滞時の危険な割り込みにヘキヘキです。バッドマナーはマタツーだけじゃない!(優香)
- ◎ 昨年は日本で、そして世界中で災害の多い年でした。被害にあわれた方には心よりお見舞い申し上げます。今年は皆様と世界中の子ども達により大きい安心がもたらされますように(英)

モヨ・チルドレン・センター ●ケニア政府 NGO 局登録番号：OP.218/051/97223/1006
P.O.BOX 2712 THIKA KENYA TEL/FAX：254(ケニアの国際番号)-067-22329 E-MAIL：moyo@africaonline.co.ke
日本連絡先
■モヨ・チルドレン・センター日本支部 〒211-0011 神奈川県川崎市中原区下沼部 1905 青木康子：TEL/FAX：044-433-3447
■モヨ・チルドレン・センターを支える会 〒799-0702 愛媛県四国中央市土居町小林 1785 - 1 高塚政生方：
TEL/FAX：0896-25-0646 携帯電話：090-11715632 E-MAIL：tmasao@d1.dion.ne.jp
■「支える会」会費/寄付受付先※口座名：モヨ・チルドレン・センターを支える会 代表者：高塚政生 ※郵便振替口座番号：01660-1-73996